

令和7年度 日南町「高齢者肺炎球菌ワクチン接種」のお知らせ

高齢者の肺炎球菌ワクチンは定期予防接種(国が推奨する予防接種)に指定されています。

肺炎球菌ワクチンについて

肺炎は、日本人の死因の第5位であり、肺炎で亡くなる方の95%以上が65歳以上の方です。日常でかかる肺炎の中で一番多い病原菌は肺炎球菌です。肺炎球菌ワクチンを接種しておくことで、肺炎の予防や肺炎にかかっても重症化を防ぐ効果が期待されますが、全ての肺炎を予防できるわけではありません。

接種してから免疫(抗体)ができるまで、平均でおよそ3週間かかります。免疫(抗体)は5年以上持続すると言われています。

【ワクチン接種の受け方】

●対象者：① 65歳の方（昭和35年4月2日生まれ～昭和36年4月1日生まれの方）
※ 65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで、接種を受けることができます。

② 60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方
※ 令和7年度内に接種を受けることができます。

ご注意ください！

過去に一度でも高齢者肺炎球菌ワクチン接種を受けたことがある方は、今回の助成制度の対象外となりますので、接種歴をご確認ください。再接種を行うと、注射部位の痛みなどが強く出ることがあります。

●接種期間：65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで
※ この期間以外で接種を受けると、接種費用は「全額自己負担」となります。

●接種場所：医療機関一覧表を参照してください。
接種を希望される場合は、前もって医療機関にご相談ください。

●接種回数：1回

●予診票：太枠部分を必ずご記入のうえ、医療機関にお持ちください。

●持ち物：① 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種受診券(黄色) ② 予診票(むらさき色)
③ 健康手帳(お持ちの方)

●接種費用(自己負担額)：一人1回1,000円 生活保護世帯の方は無料
※ 接種費用(自己負担額)は、自治体によって異なります。

●その他：「肺炎球菌ワクチン接種の注意事項」を必ずお読みください。

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の注意事項

【一般的注意】

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の前には注意事項をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師、日南町福祉保健課保健師に質問しましょう。十分に納得できない場合は、接種を受けないでください。

予診票は、接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受けるご本人が責任を持って記入し、正しい情報を担当の医師に伝えてください。

【接種が不適当な方】

次のいずれかに該当する場合には、接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱を呈している方(一般的に、体温が37.5℃を超える場合をさします)
- ② 放射線、免疫抑制剤等で治療中の方(免疫抑制剤による治療を受けられる方は、少なくとも14日以上前までに接種を受けてください。)
- ③ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ④ 肺炎球菌ワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
※「アナフィラキシー」とは、通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、急に顔がはれる、全身にひどい蕁麻疹が出る、吐き気、嘔吐(おうと)、声が出にくい、息苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ⑤ 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

【接種に注意が必要な方】

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当する場合には、注意して接種しなければいけません。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にけいれんの既往がある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

【接種後に注意すること】

- ① 注射部位は清潔にし、接種当日は激しい運動を避けてください。(接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。)
- ② 接種後に副反応として、接種した部位が腫れたり、赤くなったり、痛んだり、またわずかながら発熱、頭痛、全身のだるさなどがみられることがありますが、一般にその症状は軽く、通常2～3日で治ります。その他、接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や蕁麻疹等体調の変化や局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療をうけてください。

【その他】

- ① 肺炎球菌とインフルエンザの両方のワクチンを接種することで、より高い肺炎予防効果が得られます。両方のワクチンを同時に受けることができますが、詳しくはかかりつけ医にご相談ください。
- ② 脾臓摘出をされた方は、保険適応で接種を受けることができます。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

日南町健康福祉センター ほほえみの里
福祉保健課 保健師 電話:82-0374